

# 文部科学省主催 令和6年度研究開発評価人材育成研修 実施概要

## 1. 趣旨・目的

研究開発評価に当たっては、評価に関する制度・枠組みに対する理解や知識が必要であるが、行政や研究助成機関、大学、研究機関等では、評価の実務担当者がジョブローテーションや任期のため数年ごとに変わり、評価の経験・知識が組織内に蓄積されにくく、業務の継承がなされていないことが課題と考えられる。

このような背景の下、文部科学省では、研究開発評価の効率化及び質の向上に資するとともに、各機関における研究の推進や評価に関わる教職員の質の向上を図る観点から研究開発評価人材育成研修を例年開催している。今年度も、大学、大学共同利用機関法人、研究開発法人及び行政において研究開発評価の業務に従事している教職員を対象として、研究開発評価の業務に関する知識等の習得や実際の事例に係る情報共有を目的として「研究開発評価人材育成研修」を開催する。

## 2. 開催日

令和7年1月21日(火)～1月22日(水)

## 3. 開催場所

新虎安田ビル NIKAI カンファレンス (<https://nikai.yasuda-re.co.jp/about#access>)

東京都港区新橋4丁目3番1号新虎安田ビル2階

## 4. プログラムの構成

講義とワークショップ形式の演習（令和6年12月3日時点の予定プログラムを裏面に掲載）

\*2日目の演習では、プログラム評価の事例を取り上げ、ロジックモデルの作成や評価を実施する上での問い、分析手法の検討などを通じて、研究開発評価において着目すべき基本的な観点等について学びます。

## 5. 受講料

無料

## 6. 定員及び対象者

### (1) 定員

30名程度

（希望者多数の場合は調整させていただきますので、あらかじめご了承ください。）

### (2) 対象者

大学、大学共同利用機関法人、研究開発法人及び行政において、研究開発評価に関わる業務に1年以上従事している教職員。過年度の同研修の受講者も再受講可能とする。

\*研究開発評価に関わる業務とは、各機関における組織的な研究戦略の策定、戦略に基づいて実施される研究活動及び研究評価活動等に関連する業務を広く意味する。具体的には、以下のような業務を含む。

- ・競争的資金のプログラム設計やプロジェクトの募集選考、マネジメント、プログラム評価業務
- ・競争的資金の獲得支援や採択後のマネジメント、学内ファンドのマネジメント・評価業務
- ・研究機関の戦略立案、IR業務

\*本研修は、研究開発評価の業務に関する、基礎的・体系的な知識等の習得や、実際の事例に係る情報共有をねらいとしたものであり、特定の評価手法等について専門的な研修を行うものではない。

令和6年度研究開発評価人材育成研修 プログラム（予定）

1日目

開始	終了	時間	内容
13:00	13:10	10	趣旨説明
13:10	13:35	25	【講義1】研究開発評価を巡る現在の状況 講師：祐野 恵 京都大学 特定講師 内容：国の研究開発評価の全体像や文部科学省の評価指針等を紹介
13:35	14:20	45	【講義2】研究開発評価の意義と枠組み 講師：伊地知 寛博 成城大学大学院 社会イノベーション研究科長・教授 内容：評価の意義や基本的な概念等、習得すべき基礎的な知識を解説
14:20	14:30	10	休憩
14:30	15:15	45	【講義3】研究開発課題（プロジェクト）の評価 講師：安藤 二香 公益財団法人未来工学研究所 主任研究員 内容：プログラムにおけるプロジェクト評価について事例に基づき紹介
15:15	16:00	45	【講義4】研究者等の業績評価、研究開発機関等の評価 講師：嶋田 敏行 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 教授 内容：研究者の評価や機関評価、IRについて事例を交えて紹介
16:00	16:10	10	休憩
16:10	16:55	45	【講義5】プログラム評価 講師：田原敬一郎 公益財団法人未来工学研究所 主任研究員 内容：プログラム評価について事例に基づき紹介
16:55	17:00	5	事務連絡

2日目

開始	終了	時間	内容
9:30	9:35	5分	事務連絡
9:35	9:45	10分	演習の目的・タイムスケジュール等の説明
9:45	10:00	15分	自己紹介（各グループ）：評価業務の現状や課題認識、参加目的等の共有
10:00	11:40	100分	【ワーク】プログラム評価演習（ロジックモデルの作成、仮説および検証方法の検討、分析例の紹介等）
11:40	12:40	60分	休憩・昼食
12:40	14:40	120分	【ワーク】プログラム評価演習（ロジックモデルの作成、仮説および検証方法の検討、分析例の紹介等）
14:40	14:55	15分	休憩
14:55	15:40	45分	振り返り
15:40	16:00	20分	講評・閉会挨拶

\*今後、予告なく変更が生じる場合がございます。